

平成27年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	3. 民生費	大事業	6. 志津保育園管理運営事業
項	3. 児童福祉費	中事業	
目	4. 保育園費	担当所属	志津保育園

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	
							平成23年度	平成24年度
経常	単独	通常	0	0	2,357		-	-
							-	-
							-	-
							-	-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		2,510

財源内訳									一般財源
本年度当初要求額									0
本年度当初査定額									2,510

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・志津保育園の管理運営を行います。 ・児童福祉法39条の規定に基づき、保育に欠けるこどもの保育を行い、その福祉を積極的に増進します。 ・新保育所保育指針に従って、保育に関する専門性を有する職員が、家庭との緊密な連携のもとに、こどもの状況や発達過程を踏まえ、保育所における環境を通して、養護及び教育を一体的に行います。</p>	<p>(事業の目的) ・保育に欠けるこどもたちの健全な心身の発達を図るとともに、入所するこどもの最善の利益を考慮し、最もふさわしい生活の場にしていきます。 ・地域の様々な社会資源との連携を図りながら、地域の子育て家庭に対する支援等を行う役割を担います。</p>	<p>(事業の効果) ・十分に養護の行き届いた環境のもとに、生命の保持及び情緒の安定を図ります。 ・保育所保育は、こどもが現在を最も良く生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培います。 ・入所及び地域のこどもの保護者に対し、その意向を受け止め、こどもと保護者の安定した関係に配慮し、保育所の特性や保育士等の専門性を生かして、子育てを支援をします。</p>
<p>(事業実施上の問題点) ・保育事業を実施していく中で、子どもが安全に快適に過ごす為には環境の整備箇所が多い。 ・備品等、老朽化がすすんでおり、保育を進める中で支障をきたすおそれがある。</p>	<p>(前年度からの見直し点) ・地域親子を対象に子育て支援事業の回数を増やし、実施していく中で、子育て支援及び相談業務の充実を図り、予算内で工夫し行っている。 ・消費税があがり、実質予算が削減されている中、必要ときに手作りの品を利用し、工夫しながら保育に取り入れている。</p>	<p>(見積りに関する特記事項) ・消費税が来年度10月より、10%になる予定で見積もりを出す。職員細菌検査や清掃用具賃借料に関しては、前半は8%とする。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
01	444	444	0
08	65	65	0
09	69	69	0
11	1,370	1,321	49
12	511	560	△49
14	51	51	0

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
差引一般財源								0	2,510	0	2,510